

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
6thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
劉 敏正			

講義概要	日本と同じように韓国でも会話の中でたくさんの慣用表現を使うため、慣用表現を学習していないと理解できないことが多い。 従って本授業では慣用句の表現とその使い方、関連する文法などを学習し会話につなげることで会話能力をさらにアップすることを目指す。		
授業計画	1	オリエンテーション	
	2	慣用表現：結婚式を挙げる、日にちを決める / 文法：～かと聞く	
	3	慣用表現：お腹が痛い、嫉妬する / 文法：～ように	
	4	慣用表現：耳がかゆい / 文法：～のようだ	
	5	慣用表現：厚かましい / 文法：～だと言うけど	
	6	慣用表現：すごい、あきれる / 文法：～模様だ	
	7	慣用表現：浮気をする / 文法：～にかかっている	
	8	慣用表現：極まりが悪い、とても恥ずかしい / 文法：～しようとする	
	9	小テスト及びグループワーク	
	10	慣用表現：冷や汗が出る / 文法：～していて	
	11	慣用表現：私の鼻が三尺 / 文法：～すればよかった	
	12	慣用表現：荷が重い / 文法：～を通じて	
	13	慣用表現：目をつぶる、見逃す / 文法：～ふりをする	
	14	慣用表現：烈火のごとく目を皿のようにする / 文法：～でも、～でも	
	15	全体まとめ	
授業形態	講義		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①基本的な語彙と短文の理解、簡単な会話、基礎文法などを定着させる。 ②日常生活で活用する簡単な言葉、短文を使うことができる。 ③読み書き、日常会話ができる。 ④慣用句の理解を高める。		
	授業参加度（30％）、小テスト（20％）、課題又はグループワーク（10％）、期末テスト（40％）		
	基本的には定期試験を中心にし、さらに授業態度・出欠状況・レポート・小テスト等を考慮して総合的に評価する。		
教科書・参考書	教科書：生きている韓国語 慣用語(株)ハングルパーク		
履修条件	ハングルの読み・書き及び基礎的な文法が分かる。		
履修上の注意			
オフィスアワー	授業の前後で対応します。		
備考・メッセージ	学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。 個人のレベルに応じてクラス分けを行う。		